

# Weekly コラム

平成 28 年 10 月 18 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

## 活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

## 240 億のペーパー資源

現在、世界人口が増加傾向にある中で、約 7 億人が水不足の中で生活し、10 分間で野球場とほぼ同じ規模の森林が伐採されています。こうした現状にも関わらず、水と樹木から作られる紙の使用量は、2030 年には今の約 2 倍になると予測されています。普通紙を 1t 製造するのに樹木が約 20 本、水が約 100t 必要とされていますので、今後より多くの人々が水不足にさらされる可能性が出ています。そこで注目を集めているのが、石灰石を使用して紙やプラスチックなどの代替物を作る新素材、「ライメックス」です。

この新素材のライメックスなら樹木も水も全く使用せず、石灰石を約 0.6t~0.8t、ポリオレフィン樹脂を約 0.2t 使うだけで 1t の紙を製造する事が可能です。つまり、ライメックスとは、石灰石、無機鉱物粉末を使用して、紙(ストーンペーパー)を製造したものです。また、ライメックスの紙は、普通紙と比べ、リサイクル効率が最高なのが最大の特徴で、石灰石を使用しているので半永久的にリサイクルすることができます。さらに、耐久性、耐水性に優れており、何回折り曲げても使用でき、水中でも字を書くことができるのです。

また、選好される理由としてはライメックスの原料となる石灰石は埋蔵量が多く、日本でも 100% 自給自足が可能な資源だということです。世界各地での埋蔵量も豊富ですし、その上、リサイクル効率が高いため、ほぼ無尽蔵と言っても過言ではありません。アジア圏の石灰石埋

蔵量は、日本に約 240 億トン、中国には数千億トン以上、インドが約 750 億トン、韓国は約 400 億トンなど、アジア各国で多くの石灰石が埋蔵されているといわれています。そして 2015 年 2 月には、株式会社 TBM が宮城県白石市に年産 6,000 トンのライメックスを製造する第一工場が建設されました。現在米国や欧州などの世界 43 カ国で世界特許を取得済み、または申請中ということです。

このライメックスという新素材により、あと 50 年もすれば枯渇してしまうといわれている石油の使用も抑えられ、森林伐採による CO2 問題や世界中で問題になっている水不足も解消できるかもしれません。木を使わず、水も使用せずに製造することで、地球環境の保護にもつながり、さらに今後は紙やプラスチックだけでなく、建材や洋服、車、医療など、あらゆる分野での活躍も期待されています。唯一、難点を挙げるとすれば少し重いくらいだそうで、日本発の技術が世界を変えるかもしれませんね。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。